歴史的建造物講座『村田塾』第22回

「群馬県の寺社建築に関わった工匠」

歓喜院聖天堂(国宝・熊谷市)と熱田神宮本殿(国重文・伊那市)は関口文治郎、笠間稲荷神社本殿(国重文・笠間市)は弥勒寺音八によるもので、共に群馬県出身の彫物師である。関口文治郎は榛名神社社殿(国重文・高崎市)や桐生天満宮本殿(県重文・桐生市)も手掛けている。今まで知られていないだけで、越後の石川雲蝶、南房総の武志伊八郎信由（初代伊八）等に匹敵する、卓越した技術をもつ彫物師が群馬県に居住し活躍していた。

今回は群馬県の寺社建築に関わった工匠(大工棟梁、彫物師、石工等)に光を当ててみたい。

日　　時　2019年4月24日(水) 18:30－20:30

会　　場　群馬県生涯学習センター3F 視聴覚室

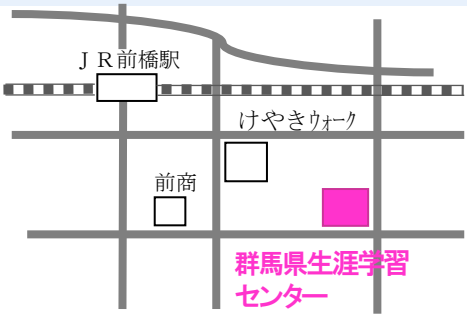
群馬県前橋市文京町2-20-22　※ 駐車場完備

講　　師　村田 敬一

群馬県文化財保護審議会副会長
博士（工学）一級建築士

資料準備等の都合により事前申込制にてお願いいたします

事務局メール　valo@bz03.plala.or.jp　宛または
ＦＡＸ 027-289-0171 まで、お名前とご連絡先電話番号をお知らせ下さい。
準備の都合上、4月23日（火）迄にご連絡をお願い致します。



主催　特定非営利活動法人景観建築研究機構　〒371-0805前橋市南町3-72-24　電話027-289-8018

ご連絡欄(FAX用等にお使いください)　FAX027-289-0171

☐　4月24日の講演会に参加します

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿